

平成30年度 ESD活動支援センター(地方・全国)活動状況概要一覧表

センター名称	開設	体制基盤	情報発信	平成30年度(2018年度)						
				委員会	主要事業					
	①開設 ②ウェブサイトをオープン	委員会名称 (委員人数)	リーフレット(パンフレット)印刷(予定) ①センター専用/EPO・センター合同の別 ②発行日 ③部数	メールマガジン・メールニュース ①形態 ②頻度 ③発行部数  *2019年1月末現在(原則)	SNS活用 ①種別 (Facebook, Twitter, Instagram等) ②フォロワー件数(種別ごと)  *2019年1月末現在(原則)	日程	地域・全国フォーラム等	その他 主要事業	協力・連携関係のあるブロック内ESDコンソーシアム(これまでに採択されたESDコンソーシアム含む)	その他:特記事項等
北海道地方ESD活動支援センター	①②平成29年9月29日(金)	北海道地方ESD活動支援センター企画運営委員会(11名)	①EPO・センター合同 ②平成30年6月 ③5,000部	①EPO北海道モデルマガに併設 ②毎週火曜日 ③1,500部	①Facebook ②671	第1回: 6月8日(金) 第2回: 1月29日(火)	・10/5(金)SDGs普及啓発セミナー 主催:北海道経済連合会 共催:北海道等 ・10/6(土)ユネスフォーラム 集え!まちづくりリーダー～サステイナブルな未来をめざして～ 主催:札幌市、学生ワーカーズ ・10/10(水)2030年ほっかどうを考えるYouth's Meeting ・1/10(木)先進的なSDGs・ESD授業実践に関わる意見交換会(対象:小学校教員)	・ESD/SDGsに関わる出講・コーディネート(16回 1月末時点) ・ESDアドバイザー制度の開始(8月～) ・地域ESD拠点を対象事業の検討 ・道内ESD関係者へヒアリング ・地域ESD拠点の登録呼びかけ ・道内教育関係機関と個別意見交換	①札幌・道央圏ESD-SDGsコンソーシアム	
東北地方ESD活動支援センター	①平成29年7月3日(月) ②平成29年9月1日	東北地方ESD活動支援センター企画運営委員会(12名)	①センター専用 ②平成30年3月 ③4,000部	なし	なし	第1回: 6月6日(水) 第2回: 3月11日(月)	・東北ESDフォーラムin岩手12/21(金) ・ESDネットワーク会議12/21(金) ・ESD推進・地域研修会9/8(土)/秋田	・只見町朝日小学校と六郷小学校の交流事業コーディネート(7/27) ・東北コンソーシアム主催セミナーの共催(8/3・4)(2/15) ・仙台ユネスコ協会主催のESD講座の共催9/1(土) ・ユネスコスクール東北大会の共催11/16(金)	①ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアム	・いわて環境塾(主催:岩手県)第5回講座に講師協力(11/18) ・SDGs学びあいセミナーへの協力(岩手、1/15) ・気仙沼ユネスコスクール研修会への協力(1/16) ・いわて水と緑の交流フォーラム(主催:岩手県)への協力(1/26)
関東地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月3日(月)	関東地方ESD活動支援センター企画運営委員会(12名)	①センター専用 ②平成31年3月 ③3,000部	①センター専用 ②月1回発行 (2017年7月開始) ③1,154部	①Facebook ②199	第1回: 7月9日(月) 第2回: 2月19日(火)	・12/22 ESD 推進ネットワーク地域フォーラム 「地域でSDGs!地域のESD実践者と考える、SDGsに貢献する取り組み」 会場:東京ウィメンズプラザ 参加者:121名	・12/22地域ESD 拠点意見交換会 ・3/16 県域でのESD推進のための意見交換会in山梨(山梨環境教育MTG内) ・2/16 県域でのESD推進のための意見交換会in埼玉(筑波大附属坂戸高校SGH研究大会とコラボ) ・6/8 ユネス応援企画②「みんなで考える、高校向けSDGsプログラム」 ・9/1 ユネス応援企画②「誰も取り残さない、高校でのESDを考える」	①横浜市ESD推進コンソーシアム ②ESD・国際化ふじのくにコンソーシアム ③ESD千葉コンソーシアム ④阿賀町近代化遺産教材材化ESD-SDGsコンソーシアム 小・中学校向け教材化プロジェクト	・三島北高校(SGH校)の学校独自授業への協力+地域ESD拠点(静岡)との連携 ・地域ESD拠点・環境パートナーシップちば「SDGsを進めるプラットフォームづくり」に参加 ・県の環境教育副読本作成事業に地域ESD拠点・茨城コモンズを照会し実現 ・伊豆半島ジオパーク推進協議会教育部会への委員 ・ESD/SDGs研修の講義・ワークショップなどを実施(8年度内予定含む)
中部地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月3日(月)	中部地方ESD活動支援センター企画運営会議(8名)	①EPO・センター合同 ②平成30年9月 ③1,000部	①EPOメルマガでの兼用発信 ②月1回(毎月第2火曜発行) ③780部	なし (受託団体のFacebookでイベント情報のみ投稿)	第1回: 5月15日(火) 第2回: 10月2日(火) 第3回: 2月12日(火)	・ESD 推進のためのダイアログ(対話の場)の開催(全3回) 8/6開催【第1回in北陸】 ・北信越ユネスコスクール交流会8/6開催(北陸ESD推進コンソーシアムと共催) 10/13-14開催【第2回in信州】 ・ユネスコエコパークにおける交流と協働によるESDの推進(信州ESDコンソーシアム等と共催) 1/18開催【第3回in東海】 ・SDGs時代における企業・地域の人材育成  ESD 推進ネットワーク地域フォーラム「SDGs社会のためのESDネットワークを考える」の開催(1/25開催)	・ESD活動実践者などの活動の可視化を促進するツール「ESD/SDGs ポイント」チェックリスト(仮称)の作成(監修:チェックリスト作成WG) ・上記チェックリストを掲載したESD/SDGs 活動のPRツールの作成・公開	①信州ESDコンソーシアム ②北陸ESD推進コンソーシアム	
近畿地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月28日(金)	近畿地方ESD活動支援センター企画運営委員会(10名)	①簡易なチラシ作成済。センター専用パンフを作成予定。 ②平成31年3月末 ③1,500部	ESDセンターとしてはなし (イベント告知はEPOメルマガにて発信可)	—	第1回: 6月22日(金) 第2回: 2月6日(水)	ESDフォーラム 2018年度(1月12日(土)、大阪市) 「地域資源を活用して、子どもたちの学び力を育てる授業をつくらう」 ～地域とつながる、“社会に開かれた教育課程”とは?～ 学校・行政・拠点の連携により地域の課題解決に迫る!～ ※同フォーラムに先立ち、モデル的なESD指導案作成・実践に向けた伴走支援(2件)、研究会の実施(7/28)、研究授業の実施(12月)	・企画運営委員会の開催 ・全国センター主催連絡会への出席 ・全国フォーラムへの出席 ・地域でESDを推進する拠点のニーズの把握(ヒアリング4件) ・地域ESD活動推進拠点の登録及び支援 ・ESD活動に関する相談・助言支援及び情報収集等 ・近畿ESDセンターWebサイトの運用等 ・府県政令市教育委員会事務局および環境部局への訪問(近畿ESDセンター事業に係る情報共有等)	①近畿ESDコンソーシアム (奈良教育大学ESD-SDGsコンソーシアム)	
中国地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月1日(土)	中国地方ESD活動支援企画運営委員会(5名)	①EPO・センター兼用 ②平成29年12月18日(月) ③3,000部	①メールマガジン ②月1回発行 ③122部(2/5現在)	①Facebookページ ②131(2/5現在)	第1回: 5月25日(金) 第2回: 3月7日(木)	・ESD学びあいフォーラム(鳥取県)2019年2月23日(土)開催予定 ・ESDユネスコ人材育成ワークショップ(広島県)2019年3月初旬開催予定(調整中)	・相談・支援窓口 ・情報収集・発信 ・地域ESD拠点の登録推進 ・地域ESD拠点の取組事例の水平展開 (ESD環境学習プログラム研修会:2018年10月18日開催) ・その他、ESD関連イベント・会議等への出席	①広島ESDコンソーシアム	・平成30年7月豪雨災害支援ひろしまネットワーク会議 ・1月12日(土)～13日(日)自然体験活動フォーラムin江田島での活動紹介(実行委員会)

センター名称	開設	体制基盤	情報発信			平成30年度(2018年度)				
						委員会	主要事業			
	①開設 ②ウェブサイトオープン	委員会名称 (委員人数)	リーフレット(パンフレット)印刷(予定) ①センター専用/ EPO・センター合同の別 ②発行日 ③部数	メールマガジン・メールニュース ①形態 ②頻度 ③発行部数  *2019年1月末現在(原則)	SNS活用 ①種別 (Facebook Twitter, Instagram等) ②フォロワー数(種別ごと)  *2019年1月末現在(原則)	日程	地域・全国フォーラム等	その他 主要事業	協力・連携関係のあるブロック内ESDコンソーシアム(これまでに採択されたESDコンソーシアム含む)	その他:特記事項等
四国地方ESD活動支援センター	①平成29年7月1日(土) ②平成29年7月3日	四国ESD活動支援センター運営委員会(14名)	①センター専用 ②平成29年10月より印刷開始 ③6,500部	①センター専用 ②月1回発行(平成29年11月より開始) ③160部	①Facebook(四国EPOのアカウントで投稿) ②473(四国EPOフォロワー)	第1回: 5月31日(木) 第2回: 調整中(2・3月頃予定)	・ESD学びあひフォーラム(11月11日) ・ユネス世代交流会(11月10-11日)	・四国ESDワークショップ～SDGsカードゲームを体験しよう!～(4月15日開催) ・教育長面談(3市) ・情報共有 ・相談(キャリア教育、コミュニティスクール、ESD、総合学習等研修、企業対応)	①新居浜ESD-SDGsコンソーシアム	・香川県国際交流協会(アイバル香川)とイベント協力 ・アイバルJICA高校生カレッジ企画協力 ・平成31年度美術館企画展「こころはSDGsアートフェスティバル～美術館から発信するESD～」共催 ・緑の少年団発表大会 ・えひめ豪雨災害支援情報共有会議 ・地域ESD拠点の呼び掛けで、教育委員会や企業へ訪問、説明を実施
九州地方ESD活動支援センター	①②平成29年7月1日(土)	九州地方ESD活動支援センター企画運営委員会(EPO九州運営委員会の分科会)(7名)	①EPO・センター兼用 ②平成30年3月30日(金) ③10,000部	①EPO九州メルマガの一部 ②月1回発行 ③682部(2/6付)	①Facebook ②Facebook 436(2/6付)	第1回: 6月14日(木) 第2回: 2月5日(火)	8月22日(水)大牟田市教育委員会と連携し、ユネスコスクール研修会の分科会の一つとして、ESD学びあひフォーラムを開催。	・6月28日(木)対馬高校の教員等を対象としたESD研修会での活動紹介。 ・8月21日(火)大牟田市教育委員会と連携し「ユネスコスクール・ESD支援教育委員会サミット」を共催。 ・11月23日(金)-24日(土)国際交流フェスティバルin沖縄への出張(JICA沖縄との連携) ・11月30日(金)-12月1日(土)ESD推進ネットワークフォーラムへの登壇 ・2月4日(月)SDGs人材育成セミナーを開催し、ESD指定校の取組を紹介(EPO九州・ESDセンター主催) ・2月27日(水)九州・沖縄地域ESD大学有識者会議の開催を予定。	①大牟田SDGs/ESDコンソーシアム	・地域ESD拠点の登録呼びかけ ・国研指定校(ESD・中学校)と連携した取組(専門家紹介、ESD研修会への出席、周知など)。 ・11月10日(土)九州ブロック・ユネスコ協会代表者会議での活動紹介。 ・11月17日(土)世界遺産学習サミットinむなかたへの出席 ・11月23日(金)-24日(土)自然体験活動フォーラムin阿蘇での活動紹介 ・1月12日(土)第2回ユネスコスクール支援教育委員会サミットin大牟田への出席 ・1月18日(金)ESDカリキュラム・デザイン研修会in島原の周知・参加
ESD活動支援センター(全国センター)	①②平成28年4月22日(金)	ESD活動支援企画運営委員会(11名)	①全国センター専用(平成29年度版) ②平成29年6月27日 ③40,000部	なし	①Facebookページ、Twitter ②530、97	第1回: 7月2日(月) 第2回: 2月7日(木)	ESD推進ネットワーク全国フォーラム2018 SDGs(持続可能な開発目標)を地域で達成していくための人づくり・地域ESD拠点の可能性 【開催日】2018年11月30日(金)、12月1日(土) 【会場】国立オリンピック記念青少年総合センター	・持続可能な社会を担う人づくりに関する活動の緩やかなつながり:ESD推進ネットワーク可視化報告・交流会(10月17日、GEOCセミナーベース) ・消費者の賢い行動とESD ワークショップ(成蹊大学(調整中)、2月25日、3月5日) ・国際セミナー(成蹊大学(調整中)、2月25日)		